

## 政経学部政治行政学科

### [教員養成の目標]

国土舘大学政経学部政治行政学科では、政治を基点として現代社会のあり方や課題について学び、地域社会のリーダーとして必要な社会的かつ専門的知識を修得し、総合的な観点から物事に適切な分析と対応を行い、次世代においても社会を支える人材となり、人の模範となる存在として貢献できる人材を育成することを目標としている。具体的な教員養成の目標を以下に示す。

1. 総合的な視点を持ち、政治と社会の関係性を理解できる教員
2. 政治の基本概念についての理論的思考力を備えた教員
3. 政治や社会の諸制度や構造について体系的に考え、分析できる教員
4. 具体的な政治や政策について情報を収集し、分析できる教員
5. グローバルな視野を持ち、世界の国や地域の多様な歴史や文化を尊重し、協力していける教員

### [当該目標を達成するための計画]

上記の教員養成の目標を実現するために、以下のような教育課程を編成している。

1. **専門教育の編成:** 政治行政学科において、政治と社会に関する基礎的な理論や概念に加えて、具体的な政治や政策についての専門知識を学ぶ専門教育課程を編成している。これにより、学生は政治に関する幅広い知識を身につけ、分析力を養うことができる。
2. **実践的な学びの提供:** フィールドワークや現地調査、実践的な課題解決演習などを通じて、現実の社会問題に対する対応力や実践力を身につける機会を提供する。また、インターンシップや地域との連携を通じて、地域社会のリーダーとしての役割や責任を理解し、実際の活動に参加することができる。
3. **他学科との連携:** 学際的なアプローチを促進するために、他学科との連携を重視する。経済学や法学など、関連する学問分野との授業や研究の交流を通じて、幅広い視野を持つ教員の育成を図る。
4. **教員の役割の自覚と研究力の養成:** 2年次から3年次にかけて、教員としての基本的な資質として、教育の役割や生徒の心身の発達、教育課程・教育方法、生徒指導・進路指導についての理解を深める。さらに、研究方法や学術的なアプローチを学ぶことで、教育における研究力を養う。
5. **教育実習の実施:** 4年次には教育実習を通じて実践的な教育経験を積む。教育実習を通して教育実践と省察を繰り返し、生徒理解を深めながら教科指導力と教育課題への洞察力を高めることを目指す。

以上の計画により、政経学部政治行政学科では、総合的な視点と専門的な知識を持ち、社会的な課題に対応できる教員の養成を目指す。